

## 小学生プログラミング県大会 高橋さん(弘大付4年)が最優秀



作品についてプレゼンテーションする高橋さん

独自のプログラムで制作したアプリなどの出来栄を競う「全国選抜小学生プログラミング大会」の県大会（東奥日報社主催）が18日、青森市の東奥日報新町ビル内「seven C's（セブンシーズ）」で開かれた。最優秀賞には「食べすぎ？ 食べすぎじゃない？ チェッククイズ!!」と

題し発表した高橋一喜さん（弘大付小4年）が選ばれた。県大会の開催は今回が初めて。小学4、5年生の3人と1団体が出場。3分の持ち時間で作品を紹介し、審査員との質疑応答を行った。高橋さんは、母親に健康で長生きしてほしいとの願

いから、カロリーを学べるクイズを制作。多くの人が楽しめるように、イラストや音声を用いた。

高橋さんは、来年3月5日に東京都内で開催される全国大会に出場することになり「グランプリを目指して頑張りたい」と意気込みを語った。（畑山佳奈子）  
そのほかの入賞者は次の通り。

▽アイデア賞 佐々木吉秀（百石5）▽審査員賞 太田寛人（筒井4）▽東奥日報社賞 「未来への私達」石藤新大（小中野5）橋本紘併（同）